

---

## 参考資料 8 外部レビューに関する 各種ガイダンスの概要について

---

# ICMA 外部レビューに対するガイドライン

- ICMAの「グリーン、ソーシャル、サステナビリティ、サステナビリティ・リンクボンドの外部レビューのガイドライン（ガイドライン）」を策定。2021年2月版が最新。
- ガイドラインは、以下 6 項目から構成される。

<b>1. イントロ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイドラインは、ベストプラクティスを促進するために策定</li> <li>・ ガイドラインは、原則の理事会（Executive Committee）と複数の主要な外部レビュー機関との協議を経て、策定</li> </ul>
<b>2. 外部レビューの種類</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部レビュー機関の種類として、①セカンド・パーティ・オピニオン（SPO）、②検証（verification）、③認証（certification）、④スコアリング・レーティングに、概ね分類できる</li> </ul>
<b>3. 外部レビュー機関の倫理的・専門的基準</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部レビュー機関の5つの倫理的・専門的基準を提示</li> <li>・ 外部レビュー機関が適宜従うべき既存の基準等を例示（例：国際会計士倫理基準）</li> </ul>
<b>4. 外部レビュー機関の組織</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部レビュー機関が備えるべき組織事項を提示（例：外部レビューの内容に関する経験や資格を保持する適任者雇用）</li> <li>・ 外部レビューに含める/で公開すべき情報を提示（例：目的、業務範囲、外部レビュー実施者の資質の一般的な説明）</li> <li>・ SPO提供時に、外部レビュー機関が専門性を有するべき事項を特定</li> </ul>
<b>5. 外部レビューの内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部レビューは包括的でもよいし、部分的でもよい</li> <li>・ 以下の3つの外部レビューについて、外部レビューの内容を明確化（括弧内はレビュー内容に関する要求レベル）：             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. SPO：債券又はフレームワークと、関連する原則との整合性評価。グリーン・ソーシャル・サステナビリティボンド（GB/SoB/SuB）の場合はプロジェクトの環境・社会面での特徴等（should）、サステナビリティ・リンク・ボンド（SLB）（通常は契約前に）KPIsの重要性やSPTsの野心度等（encourage）</li> <li>2. 検証：GB/SoB/SuBの場合は、債券又はフレームワークと内部・外部基準との整合性等（may）。SLBの場合は、各KPIsについてのSPTsのパフォーマンスレベル（requirement）</li> <li>3. スコアリング・レーティング：環境・社会パフォーマンスデータ、関連する原則の実施プロセス等（may）</li> </ol> </li> </ul>
<b>6. 外部レビュー機関の情報開示</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原則では、外部評価について、発行前または発行時に、発行体ウェブサイト及び／又はその他のアクセス可能なコミュニケーションチャネルを通じて適切に公表されることを推奨</li> </ul>

# LMA 外部レビューに対するガイダンス

- LMA等は2022年3月、「グリーン、ソーシャル、サステナビリティ・リンク・ローンの外部レビューに関するガイダンス（ガイダンス）」を公表。ガイダンスは、以下 6 項目から構成される。
- ガイダンスは、ICMAの「グリーン、ソーシャル、サステナビリティ、サステナビリティ・リンクボンドの外部レビューのガイドライン（ガイドライン）」を基に作成。

<b>1. イントロ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• LMA等による「グリーン、ソーシャル、サステナビリティ・リンク・ローンの外部レビューに関するガイダンス（ガイダンス）」は、市場のベストプラクティス促進のため、ICMAのグリーンボンド等に関するガイドラインを基に作成。</li> <li>• ガイダンスは、世界のシンジケートローン市場で活躍する大手金融機関の代表で構成されるワーキンググループが、主要な外部レビュー機関との協議を通じ、作成。</li> </ul>
<b>2. 外部レビューの種類</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外部レビュー機関の種類として、①セカンド・パーティ・オピニオン（SPO）、②検証（verification）、③認証（certification）、④スコアリング・レーティングに、概ね分類できる</li> </ul>
<b>3. 外部レビュー機関の倫理的・専門的基準</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外部レビュー機関の5つの倫理的・専門的基準を提示</li> <li>• 外部レビュー機関が適宜従うべき既存の基準等を例示（例：国際会計士倫理基準）</li> </ul>
<b>4. 外部レビュー機関の組織</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外部レビュー機関が備えるべき組織事項を提示（例：外部レビューの内容に関する経験や資格を保持する適任者雇用）</li> <li>• 外部レビューに含める/で公開すべき情報を提示（例：目的、業務範囲、外部レビュー実施者の資質の一般的な説明）</li> <li>• SPO提供時に、外部レビュー機関が専門性を有するべき事項を特定</li> </ul>
<b>5. 外部レビューの内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外部レビューは包括的でもよいし、部分的でもよい</li> <li>• 以下の3つの外部レビューについて、外部レビューの内容を明確化（括弧内はレビュー内容に関する要求レベル）：             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. SPO：ローン又はフレームワークと、関連する原則との整合性評価。グリーン・ソーシャルローン(GL/SL)の場合はプロジェクトの環境・社会面での特徴等（should）、サステナビリティ・リンク・ローン（SLL）（契約前）の場合はKPIsの重要性やSPTsの野心度等（should）</li> <li>2. 検証：GL/SLの場合は、ローン又はフレームワークと内部・外部基準との整合性等（may）。SLLの場合は、各KPIsについてのSPTsのパフォーマンスレベル（requirement）</li> <li>3. スコアリング・レーティング：環境・社会パフォーマンスデータ、関連する原則の実施プロセス等（may）</li> </ol> </li> </ul>
<b>6. 外部レビュー機関の情報開示</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外部レビューは、関連融資文書の規定に従い、融資の当事者である全金融機関に適時に通知され、入手可能にするべき</li> <li>• 適切な場合、秘密保持および競争上の配慮を考慮し、借り手は外部レビューまたはその適切な要約を、ウェブサイトまたはその他の方法で一般に公開すべき</li> </ul>